

市長と語ろう地域ミーティング〔 北新庄地区 〕開催結果

開催日時 平成21年 5月29日(金) 午後7時30分～9時
会場 北新庄公民館
出席者 (地区) 46人
(市側) 市長、今立総合支所長、市民生活部理事
児童福祉課長、防災安全課長、文化課長
教育総務課政策幹、商工政策課政策幹
進 行 秘書広報課
記 録 市民自治推進課 主査
担 当 (政策推進課公共交通対策室) 室長
(財務課) 主幹

市民憲章唱和

北新庄地区自治振興会長 あいさつ

お疲れのところお集まり頂きましてありがとうございます。たくさんの方にお集まり頂きましたこと厚く御礼申し上げます。市長をはじめたくさんの市職員の方々において頂きまして、私どもの意見に耳を傾けて頂きたく、本日はよろしくお願い致します。

北新庄地区は、地図の上では越前市のだ真ん中で、非常に住環境が良い、緑豊かなところだと思っております。教育的な環境から言えば、少々手狭ではありますが保育園もあり、小学校も新しくなりました。近隣には、万葉中学校があり、武生東高校もあります。また、大学までありまして、教育環境はたいへん良いところです。

生活圏にしても、高速道路をくぐるとたくさんのお店があり、暮らしのなかで便利が良い。交通の便につきましても、戸谷片屋線ができますと、旧国道まで通じます。このようなところですが、まだまだ要望はございます。この素晴らしい北新庄地区を未来につないでいきたい、その役割を担うのが、我々の仕事であろうと考えています。

本日は、みなさんの意見を頂戴し、意見交換ができるものと思います。昨年、創造会議と名づけまして、区長会と自治振興会のみなさんと一緒に、北新庄の将来をどうしようかと知恵を出し合う会をつくりました。今年は自治振興会の部長さん、各町内の区長さんにお集まり頂きまして、北新庄の将来を考える創造会議として位置づけていきたいと考えています。本日は、事前に市にもお伝えしておりますが、5つの項目を挙げさせて頂いております。また、その後の会議で、新たに5つの項目を追加提案させていただくことになりました。創造会議は、今を見つめて、将来を語り、そして協働の力をどうやって発揮していくか、このことを考えていきたい。そして皆さんとともに行動していきたい。そんな意味合いでひとつの大きなステップになれば良いということで、今日の会議を意義あるもの

にしていきたいと思しますので、よろしくご協力をお願いします。

ぜひ皆様からの建設的な意見をお願いしまして、ご挨拶にかえさせて頂きたいと思します。ありがとうございました。

市長あいさつ及び説明
(別添資料のとおり)

出席職員の紹介

代表質問

Q 1 :

<市役所新庁舎の誘致について>

1つ目に、市役所新庁舎を誘致します。武生市が今立町と合併して、市長には今立との融和ということで、たいへんご苦勞をされていると思します。新庁舎を北新庄にもってきていただければ、今立との融和が図られると思しますので、よろしくお願ひしたいと思します。

A 1 : 市長

新庁舎の位置は、合併協定項目の中で「日野川東部にあたる国道8号沿い北部の地域を優先候補とする」となっております。

新庁舎の建設については、合併協定に基づく課題であるとともに、現庁舎の耐震性に課題もあることから、協定内容を尊重して取り組む必要があると考えております。

しかし、建設には莫大な費用がかかることから、早期着手は難しく、まずは、財政の健全化に留意しながら、基金を計画的に積み立てることが現実的な取組みだと考えており、本年度も、財政状況が非常に厳しい時期ではありますが、将来の新庁舎の着実な建設に向けて、補正予算と合わせて1億6千万円の基金の積み立てを行ったところでございます。

なお、具体的な庁舎の建設位置については、まだ具体的な場所は決まっております。今後の基金の積み立て状況を踏まえ、合併協定項目を尊重しながら、慎重に検討していく課題であると認識しておりますので、現時点でいつ、どこにという形でお答えできないことにつきまして、ご理解を頂きますようお願い致します。

Q 2 :

<地区基本計画策定について>

創造会議の中で、地区基本計画を策定していますが、当面の課題として4つについて質問します。

1番目は、小学校体育館の改築に関すること。

2番目に児童センターの設置に関する事。児童センターにつきましては、ほとんどの地区で設置されております。早急な設置をお願いしたい。

3番目に市川鉱物研究所の移転に関する事。これにつきましても、2年程前から、市川先生の研究所を地区として大事に保存していきたいということで、建物なり鉱物の整理などを進めておるところですが、現地での保存には問題点があり、移転について課題としているところ です。

それから4番目に、防災計画策定に関する事。各町内では自主防災組織を立ち上げていますけれども、地区としての防災組織が無い、地区としての防災計画が無い、ということで早急にやらなければならない。当面の課題ということで、地区の防災基本計画の策定にご協力頂きたいということです。

A 2 - 1 : 教育委員会政策幹

北新庄地区の皆様におかれましては、学校の内外を問わず、子どもたちに対し、温かいご支援を頂いていることお礼申し上げます。

小学校体育館の改築に関してですが、学校施設の耐震化は、教育や防災の観点から市の最優先の課題と位置づけ、大変厳しい財政状況の中ではありますが、早期の計画完了を目指し、昨年11月に「学校施設耐震化推進計画」を2年前倒しとしたところでございます。

この新たな計画において、北新庄小学校体育館の改築は、設計を平成25年度に実施し、工事については、平成26年度から2ヵ年間の計画を平成26年度の単年度で実施することに変更し、完成を1年早めることと致しました。

改築にあたっては、限られた予算の中ではありますが、特色ある学校づくりを目指し、地域の方や学校関係者の方々のご意見、ご要望をお聞きし、計画的に進めてまいりたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願い致します。

A 2 - 2 : 児童福祉課長

北新庄地区の皆様には、北新庄保育園の運営につきまして、地域ぐるみで暖かいご支援を頂いておりますこと、この場をお借りしまして御礼申し上げます。園児数も増え、学童保育の児童登録数も増えておりますけれども、職員一同頑張っておりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

では、児童センターの設置に関してお答えさせていただきます。現在、市内には、昨年度建設した大虫児童館を含め、児童館あるいは児童センターが12館あります。

市では、厳しい財政状況の中、大虫児童館では隣接する地区体育館をプレールームとして併用し、また、北日野地区では幼保合同活動の開始に伴い、空き施設となった旧北日野幼稚園を活用して児童センターとするなど、既存の公共施設を有効に活用した児童センターの整備を進めています。

北新庄地区の放課後児童対策としては、北新庄保育園で学童保育事業を実施し、登録児

童数も年々増加しております。また、北新庄公民館では、毎週金曜日に、学童クラブの児童も参加した放課後子ども教室を開催し、充実した内容での運営が行われています。

今後の児童数の推移を注視しながら、地域の皆様とも十分協議を進め、市全体としての児童館の整備方針も含めた放課後児童対策の充実に向け、検討を深めてまいりますので、ご理解をお願い致します。

A 2 - 3 : 文化課長

地区の皆様におかれましては、文化遺産の継承に熱心に取り組んで頂いておりますこと、厚く御礼申し上げます。市川鉱物研究所の移転に関してお答えさせていただきます。

北新庄地区では、地域の歴史的・文化的文化遺産に関する顕彰活動として、地元の顕彰会が中心となり、自治振興会と協力して、「市川鉱物研究室」に保管されている8,000点を超える水晶などの鉱物資料や市川新松先生の業績の継承、広報活動などを実施されております。

市の支援としましては、「市川鉱物研究室」の多くの鉱物標本や、研究資料等の調査を専門家に委託するための経費などとして、3年間で約120万円(1,203,050円)を予算措置し、この調査結果をもとに、国の登録記念物への登録推薦を予定しています。

このように、郷土の歴史的・文化的文化遺産を大切に継承していくための取組みとしては、地区の皆様と行政が担う役割を明確にし、「市川鉱物研究室」の維持管理に関することは地元で行って頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

A 2 - 4 : 防災安全課長

当地区におかれましては、昨年の市の総合震災訓練、また、地域独自の防災訓練を実施し、また、町内毎の自主防災組織の結成、それから地域防災計画の策定の検討など、防災に対する取組みを熱心に進めて頂きまして、誠にありがとうございます。それでは、ご質問の地域防災計画についてご説明させていただきます。

この計画でございますが、すでに他の地域で策定をされているところもございますが、そういったところをみますと、地区自主防災組織として本部、広報班、防災班、救出救護班、避難所班等の組織編成、さらに、本部及び各班の日頃の活動内容や災害時の役割分担など、地区としての取組みや対応方針を具体的に定めるものとしております。

地区及び町内の自主防災組織が連携を致しまして、災害発生時に効果的な活動ができるように、地区防災計画の策定に向けた取組みを進めて頂きたいと思っております。

なお、市としましても出来る限りの協力をさせていただきますので、防災安全課へご相談ください。

また、地区の皆様が地区防災計画に対する理解を深めて頂くため、市の市政出前講座も是非ご活用ください。

Q 3 :

< 浅水川西側堤防をジョギング可能な道路に >

浅水川の西側堤防をジョギング可能な道路にということで、これにつきましては2年前に特別事業で南越線跡地を、公園化の整備をすすめているところでございます。北新庄の東側に位置する浅水川、田園風景の中で地域にいろいろな影響をもたらす浅水川を守っていきたい、そこを利用して何かをしたいということで、ジョギングができる、散歩ができる道路にしたい、という提案でございます。

今年の4月には、菜の花ロードオープンということで、あいにくの雨でしたけれども、計画をしているところでございます。

A 3 : 維持管理課長

浅水川の堤防の件でお答え致します。浅水川は県の管理であり、近年、豪雨等の影響で、土砂が堆積しておりまして、河床の掘り下げにつきましても、市の重要要望ということで要請をしまいいりまして、昨年も真柄橋の下流の延長約800mの区間について浚渫を実施頂いております。

また、ご提案のありました安心して楽しくジョギングや散歩ができる浅水川堤防の環境整備についても、地元の声として引き続き県に届けていきたいと思っておりますので、ご理解をお願い致します。

なお、丹南土木事務所に確認したところ、地区自治振興会などが自主的な活動の一環として取り組む河川の環境整備の実施については、県も資材の提供等できる範囲での応援をさせて頂くことから、事前に協議をお願いしたいとのことでありましたので、よろしくお願い致します。

Q 4 :

< 子育て母親のサロンの設置について支援を >

4番目の子育て母親サロンの設置についてでございます。

これにつきましては、当面の課題ということで、児童センターの設置をお願いしておりますが、その設置の折には併設されるものと考えておりますが、今の時点では、公民館の和室を中心に「こぶたクラブ」という母親クラブの中で活動をさせて頂いております。ただし、和室は狭く、また設備等もございませんので、機能の充実を図っていきたく考えています。

A 4 : 児童福祉課長

子育て母親サロンのご質問につきましてお答えさせていただきます。

子育て中の親子の交流や子育ての悩み、相談に応じる拠点として、市内3箇所で地域子

育て支援センター事業を行っていますが、このような拠点となるセンターの設置は予定致しておりません。しかし、地区において特色ある地域づくりの一環として、先ほどご提案を頂きましたような事業に取り組んで頂くことは、子育て中のお母さん方が地域にとけ込みやすい環境づくりや、子育てによるストレスを解消するには有意義な事業であると考えております。

幸い、当地区にある北新庄保育園は、地域との連携に積極的に取り組んでおります。子育てサロンの運営について、保育士の専門的な知識等を活用頂きまして、今後とも連携しながら対応していきたいと思っております。

また、公民館の一部を子育て支援に活用できないかのご提案ですが、現在、北新庄公民館では、「こぶたクラブ」という子育て自主サークルが運営されております。今後とも、この活動を含め子育て支援活動に、公民館を大いにご活用頂きたいと考えます。

Q 5 :

< 三里山ふもとの公園化 >

最後に三里山ふもとの公園化でございます。これにつきましても、特別事業のなかで、登山道の整備や桜の木の植林等を進めてまいりました。

北新庄地区は人口が少なく、市からの補助も少ないので、何でも特別事業でやっていかなければなりません。里山の公園化という、いろいろな問題もあろうかとは思いますが、北新庄としましては、三里山を公園化していきたい。鯖江にも隣接していて、2市が共同で福井県内に情報を発信すれば、非常にいい公園化ができるのではないかと考えています。今年には三里山のマップを充実させていきたいと考えています。

A 5 : 市民生活部理事

三里山のふもとの公園化についてお答えさせていただきます。

北新庄地区の三里山事業については、平成 18 年度に、地区自治振興会と周辺町内会が連携して、地域自治振興事業の特別事業「三里山整備計画策定事業」として、三里山マップづくりと案内看板等を整備されております。平成 19 年度は「三里山サミット事業」として、登山道の整備と三里山を取り巻く周辺 6 地区にも呼びかけを頂きまして、山頂でサミットを開催されました。

さらに、平成 20 年度からは、県の「ふるさとの森整備事業」の補助を受けられまして、山頂周辺などに広葉樹の植栽をされていると伺っております。

三里山は「福井県のふるさとの里山」の中でも、標高が低いにも関わらず自然が豊かなことで県内外に紹介され、遊歩道も整備されていることから、近年はハイキングやウォーキングに訪れる人が年々増えていると聞いています。また、周辺 2 市の 6 地区には、史跡や天然記念物なども多く、観光の面でも大変魅力的な地域であります。

地区自治振興会が、この三里山の保存整備や地区内外への広報を実施され、地域の活性化を図られることは、大変有意義なことであると思います。

市としましても、参考となる事業の情報提供や、観光 PR など、各担当課で協働できることがありましたら、支援をさせて頂きたいと考えております。

意見交換

Q 6 : 創造会議代表

< 創造会議でまとめられた提案 >

まず 1 点目に、子どもの教育問題についてです。

北新庄地区には幼稚園がなく、保育園しかないことは皆さんご存知だと思いますが、北新庄地区も核家族、共働きが多く、現状の規模の保育園では手狭になっています。

幼稚園をつくってくれというわけではないですが、認定こども園のような幼稚園と保育園の融合されたものを今後、規模を拡張する際や新設をする際に、認定こども園としての設置をご検討頂きたい。

2 点目は、市民バス「のろっさ」についてです。

これについては、昨年この場でも意見があったとお聞きしています。現状で、北新庄地区を通る「のろっさ」は週 2 回、水曜日と金曜日、1 日 2 便通っています。この「のろっさ」に乗って、市役所に行こうと思うと、真柄の人は真柄で乗って、戸谷をまわって、中新庄をまわって、高木をまわって、横市を通過して市内へ行くわけです。直線距離ならば、市役所まで車で 10 分だが、「のろっさ」では 1 時間かかります。

これでは福武線にも乗れません。ぜひ、市民バス「のろっさ」のルートの変更をお願いしたい。北新庄のメインルートを「のろっさ」は通りません。ぜひ、ここを通るルートでお願いします。

3 点目は、新幹線問題です。

新幹線は青写真でいくと、この北新庄地区の北東から南西に斜めに突き抜けるのですが、そうすると整備された田んぼが斜めになってしまいます。市に要望するのは違うのかも知れませんが、ルートの変更ができるならば、お願いしたい。もしくは、ルートの変更ができないなら、南越駅の場所は、高速道路を越えた庄田町ではなく、戸谷片屋線の方に駅を誘致して頂きたい。そうすれば、交通の便が良いのではないかと思います。併せて、市役所もそちらに移転して頂きたいと思います。

続いて 4 点目は、交通安全についてです。

小学校の児童ですが、真柄町から小学校へのルートに歩道がありません。縁石を引いて歩道の設置をお願いしたいが、とりあえず歩道の線引きをお願いしたい。ここは、万葉中学校の生徒や東高校の生徒も通ります。交通死亡事故ゼロ 500 日以上を目指すためにも、よろしくお願いします。

最後に 5 点目ですが、公共事業についてです。

北新庄地区には公共施設がありません。公民館隣接のゲートボール場はよく使われていますが、他には何もありません。屋根つきの集会場、軽スポーツなどに使え、また放課後子供プランにも活用できるような施設をお願いしたい。以上、よろしく申し上げます。

A 6 : 市長

私の方で、2と3をお答えします。

まず、市民バスの考えでありますけれども、基本的に路線バスの走っていないところに付きまして、医療機関等に通われる高齢者の方が中心市街地に手軽に通うことができるようにルートを考えております。路線バスの通らないところを考えておりますので、そういう意味では、粟田部の方から武生の方に向かって路線バスが走っているルートは、「のろっさ」のルートから外れます。そこは路線バスを使って頂くか、あるいは福祉バスということで、週2回65歳以上の方は、この路線バスを100円で乗っていただけます。

今申しましたような観点からも、路線バスを使って頂くことが、民間の厳しい経営状況の中で合理的だと思っています。

これまでの地域ミーティングでも、いくつかの地区からはもっと回ってくれという強い要望があります。路線バスの走っていないところを、1時間以内で始発と終点を結ぶ。そして交通弱者の方が病院通いなどに使って頂きやすいように、そういった考えで設計させて頂いております。

住民の皆様のご要望にお答えできる場所の変更と一緒に考えていきたいと思っておりますが、そういった基本的な考え方というのは、市民バスの重要な柱だと思っておりますので、ご理解頂きたいと思っております。

それから、新幹線の駅の件については、平成8年だと思っておりますが、工事実施計画の認可申請という段階まで来ており、あとは国土交通大臣が「認可」という一言を発してもらえれば、すぐに工事に入れる段階にまで来ているわけです。

ですから、13年前から南越駅までの区間については、いつ工事が始まってもおかしくない状況にまで来ております。すなわち、ルートも駅の場所も、環境アセスなどの手続きも終えた段階にあります。敦賀以降につきましては地域の皆様と協議することは可能ですが、少なくとも敦賀までの区間は決定済みでして、あとはいつ工事が始まるか、という段階にあることをご理解頂きたいと思っております。

A 6 - 2 : 児童福祉課課長

私の方から認定こども園のことについてお答えさせていただきます。

認定こども園制度と申しますのは、保育にかける子どももかけない子どもも一律にひとつの建物の中で受け入れて、保育あるいは教育をしていこうというような制度でございます。それまでの経緯でいいますと、厚生労働省と文部科学省に分かれて、それぞれが保育園、あるいは幼稚園を管轄していたわけですが、都市部の保育園の待機児童の問題がクロ

ーズアップされ、その解消策のひとつとして、平成 16 年頃に国の方から打ち出された施策でございます。

市では、平成 19 年度に第 3 者から成ります、就学前教育検討委員会というものを設置致しまして、その中で越前市の就学前教育あるいは保育内容というものを検討してきました。その提言の中では、その地域の中での就学前教育、保育の機会を保障していこうと、そのうえで公立、私立あるいは保育園と幼稚園の連携を図っていこうというような提言を頂きました。その提言に基づきまして、市では平成 22 年度を目処に、服間地区で幼稚園と保育園の合同活動をスタートさせようということで、準備を致しております。

当地区の場合ですと、もともと保育園だけが設置をされておりますので、幼稚園機能を付加するであるとか、そういった点につきましては、市内全体の就学前教育・保育の充実を図るなかで検討していきますので、よろしくお願い致します。

A 6 - 3 : 維持管理課長

4 点目の歩道設置の件についてですが、歩道設置につきましては、交通量や歩行者数などいろいろと条件をクリアしなければならない訳ですが、今ご提案のありました、ゼブラ等による区分けということにつきましても、警察との協議も必要となります。また、ルート、道路の幅員等の関連もございますので、一度じっくりとお話を伺いまして、警察との協議もふまえてご相談させて頂きたいと思っております。

A 6 - 4 : 教育委員会政策幹

現在の北新庄地区の屋内運動施設につきましては、公民館に併設されております身近な体育館、それから小学校の体育館などをご利用頂いていると思っております。しかしながら、学校の耐震化などが続く厳しい財政事情の中、新たな施設建設は大変困難だと考えざるを得ません。つきましては、既存の施設を工夫して利用頂きたいと思っておりますので、ご理解をお願い致します。

Q 7 :

私は、交通安全協会の活動が 13 年目になります。これまでも地域の方々から、危険箇所の改善要望がございまして、市でも多くの改善をして頂いて、たいへん感謝致しております。危険箇所に設置するカーブミラーですが、1 1 月から 4 月ごろまでは気温の低下によりまして、朝の結露、霜により見えなくなる箇所があります。長年の問題でありまして、これを改善できないか。技術も進んでいるので、何とか解決できないものではないでしょうか。

Q 8 : 北新庄小学校 PTA 会長

真柄町から小学校までの通学路の件ですが、現状では、道路区画線の歩行者の区画線が見えないところが多くあります。こちらは、すぐにできるのではないかと思いますので、

お願いします。

A 7 . 8 : 防災安全課長

カーブミラーの設置につきましては、地域の要望があれば、現場を見てすぐに対応しております。

お話のありました冬場の凍結、結露対策がなされたカーブミラーについては、私の知る限りでは、まだございません。年間に多くの設置要望がありまして、幅広く皆様のご要望にお応えさせて頂きたいと思っておりますので、今後とも検討させていただきます。

それから、歩道の区画線について、交通安全施設の整備ということで、除雪等で消えているところについて、区長さんなどからお聞きしたところから順番に整備しております。

特にお話のような通学路につきましては、現場を確認し、早めに対応いたしますので、よろしくお願い致します。

閉会